

# CASBEE® 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コフロック株式会社P1棟	階数	地上2F
建設地	京都府田辺市草内橋折48番他地	構造	RC造
用途地域	工業地域・特別工業地区	平均居住人員	32 人
気候区分		年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月	評価の実施日	2012年3月16日
敷地面積	3,504 m <sup>2</sup>	作成者	㈱吉村建築事務所
建築面積	1,287 m <sup>2</sup>	確認日	2012年3月21日
延床面積	2,037 m <sup>2</sup>	確認者	池田 郁英



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 79%  
③上記+②以外の 79%  
④上記+ 79%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>工業地域の特別工業地区に建つ建物としても、周辺環境に良い影響を与えるように配慮し、エネルギー効率の良い建物を計画している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>開口部遮音性はT-2仕様で、昼光率は高くトップライトを多用している。 内装仕上げの化学汚染物質対策は全て☆☆☆☆を使用し、自然換気性能も高い。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>全館禁煙とし食堂内に自動販売機を置き周辺をリフレクスペースとして配慮。 維持管理に配慮し、寿命の長い材料を使用している。又階高は5.0mと高く壁長さ比率も十分あり空間のゆとり配慮</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>自然エネルギーの直接利用はトップライトで行い、LED照明を多用している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>水栓は主に自動水栓とし、大便器、小便器共節水型としている。 非構造材におけるリサイクル材の使用に努めOAフロアを採用している。</p>
	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>2階建ての低層とし敷地周辺に緑地を配し外観のデザイン・色彩に工夫し、特別工業地区にあっても周辺環境に配慮している。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>低層で見付け面積比を小さくし風下への風通しに配慮している。 敷地内に多数の駐車場を確保し出入し易い駐車場としている。 周辺への光害対策は十分に検討している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される